

JAAC だより

企業が着目する“あなた自身の姿”

— 企業側が知りたいあなたの社会性と感性と創造性 —

先月の末に、親しくしている大学関係者と大学教授の方々数人にお会いする機会がありました。新年会を兼ねた会食でしたが、いつの間にか話の話題は“就職活動”に関することになっていて、私も大変勉強になった次第です。その時に話されていた中で、“企業が求めている人材のあり方”とも言うべき点がありましたので、今回はその時の話題を振り返りながら、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

子供が成長していく過程で、子供たちが身につけていかななくてはならないものに“身体性”、“社会性”、“感性”、そして、“創造性”といったものがあります。これらは子供たちの成長に欠かせない要素で、教育関係者の方々はもちろんのこと、様々な分野に携わる人々においても常に考慮されている事柄です。結局のところ、企業側が人材を求める際に着目する点は、その人材が持つ“社会性”や“感性”、“創造性”などではないでしょうか。もちろん、企業の業種によって“身体性”も重要視される項目の一つと言えるでしょう。つまり、企業側としては“その人（人材）がどのような過程の中で育ち、社会の成員になろうとしているのか”を見極めたいわけです。それと同時に、その人（人材）の将来性やポテンシャル（可能性）も見極めようとしているわけですね。学生が事前に提出するエントリーシートや就職面接などから、企業側はその人（人材）を理解しようと努め、そして、評価していくわけです。

会食の席に同席した大学関係者から話されたことというのが、まさにこの点だったのです。同席者の一人が、『去年（2010年）の就職活動に参加していた学生たちの話を聞いてみると、企業側が重視していることのひとつに学生の“社会性”と“感性”と“創造性”があると思う』と、話していました。彼は仕事から就職活動中の学生たちの相談を受けることが多く、就職活動をする学生たちが参加した企業説明会や面接についてのレポートや話から、このように感じたそうです。その場に居合わせた他の面々も一様に彼のことばに耳を傾け、頷いていたのがとても印象的でした。実は、私も彼の話に共感した一人でした。その時の話からすると、優れた社会性や感性、創造性といったものを兼ね備えた人材が少なくなっているように見受けられます。

私も本誌上で今まで“企業が求める人材”をテーマにしたお話を重ねてきましたが、この度の座談会では多くのことを気づかされたと思います。今では、語学力が求められているとか、専門的な知識は必要だとか、学生時代に何を経験したのか、などということが重要視されているように見受けられますが、実は根本のところでは、その人（人材）の人間性を一番重視しているように思います。たまたま今、就職活動中の学生に求められていることとして、“人間性”ということを取り上げていますが、実はこの“人間性”というものが、人が生きていく上で一番大事なことなのではないでしょうか。“社会性”というその意味の中には、社会の一員としての協調性や共生する気持ちと能力といったものも含まれます。つまりは、『人』との関わり方とも言えますね。“感性”の持つ意味の一つにも、自分自身が他の人々や社会全体と関わる上で、自分自身が何を、どのように感じているかを問われているようにも思います。“創造性”についてもしかりで、自分が創造するものが、いかに社会との関わりを持つかが問われているのではないのでしょうか。

IT やコンピューターの発達によって我々の社会は大きく変化しました。皆さんのお父さんやお母さんが育った時代とは大きな違いがあります。おそらく、現在のようにパソコンや携帯電話の普及と発達に見られるように、IT とコンピューターの発展、発達という時代の中で育った皆さんが持つ“社会性”、“感性”、“創造性”というものは、我々の世代が持つ様々な認識とは異なるものだと思います。これらは社会の変化と共に変わるものですが、しかし、人として持つべき“人間性”というものは普遍的なものなのではないのでしょうか。人として、人間として、自分たちが生活する社会に生き、その社会との関わりを持ち続けていくことが、“生きる”ということなのだと思います。“社会性”、“感性”、“創造性”を一つにまとめれば“人間性”ということばに置き換えることができるのではないのでしょうか。社会を構成する単位の一つとして企業（会社）があるのですから、企業が皆さんに求めるものは、社会全体が皆さんに求めるものとさほど変わりはないのだと思います。

（カリフォルニア事務局： 照井）

身近になる外国語との関わり

いよいよ今年の4月から、小学校で外国語の授業が5年生と6年生を対象に実施されることになりました。諸外国から英語をはじめとする外国語を理解する（主に話すことなど）人が少ないと言われている日本ですが、小学生から外国語教育を取り入れる試みが将来、良い結果をもたらしてくれることを願っています。小学校からの外国語教育が導入されることで、先生方のご苦労は確実に増え、負担も大きなものになるでしょう。最近の調査では、小学校の先生方の約7割が英語の授業に不安を持っていると答えています。以前から試験的に英語の時間を取り入れている小学校の中には、英語の授業というよりも、英語を使った遊びの時間になりがちだ、という調査結果を出した学校もあります。先生方にとっても、生徒にとっても初めてのことでですから、これから年を重ねるごとに様々な問題点が克服され、改善されていくことと期待をしています。

最近では、我々の社会のいたるところで外国語が使われるようになってきたなど感じています。電車の中のアナウンスや停車駅等の表示、駅構内の案内表示などは年々、外国語による案内や表示をする度合いが増してきました。このように公共に関わる一般企業や地方の役所などでは外国語による表記と表示を増やしてきています。これは外国人への配慮として捉えがちですが、実は、必要性があつてのことだと思います。私自身も最近気がついたのですが、携帯電話の利用明細書や市役所の書類等に外国語による表記案内箇所がありますね。外国語の表記を入れないと、外国人の利用者や住民と細かなコミュニケーションが取れないからではないでしょうか。それだけ多くの外国人が日本に住み始めているということなのでしょうね。日本人がもっと外国語に興味を持って、その必要性を感じて外国語を理解するように努めると、その結果として日本社会にも大きなメリットをもたらすことになるのでしょうか。外国からの観光客も増えるでしょうし、日本で暮らす外国人の人たちにとっても、日常生活上の不安が軽減でき、安心して日本で生活ができるようになるのではないのでしょうか。これは外国人の問題というより、私たち日本人の問題ですね。

(カリフォルニア事務局：照井)

【編集後記】▼受験シーズン真っ只中です。受験によってその人の人生が変わる・・・なんて考えたくないのですが、それが現実というものなのではないでしょうか。AO入試や自己推薦など、学校側として学生確保のために色々な策を打ち出していますが、そろそろ受験制度そのもののあり方を考える必要があるのではないのでしょうか●インターネットの普及によって一国の政権がひっくり返ってしまった。それも一つの国ではなく、複数の国が・・・。報道の自由と義務によって情報公開がなされているが、この“自由”ということばの重さを再認識したような気がする。これから益々ITの発達によって、今まで想像もつかなかったことが起きるだろうなあ。これから世の中は、世界はどのように変わるのだろう。長生きして見とどけなきやっ□今年もインフルエンザが流行している。A型の変形だそうだ。結局、早めの予防が何よりの薬だな。海外にいるJAAC生の皆さまも気をつけてください▲首都圏に大雪が降った。案の定、多くの公共交通機関や高速道路に大きな影響を与えた。東京は本当に雪に弱いね！！ そうですね、新潟県では4mを超える積雪があったそうだ。ケガ人も出た。これも気候変動の一つの現象だろうか。これ以上、雪による被害や農作物への影響が出ないことを願っています■就職活動も最後の追い込みに入っている。今年卒業する学生たちは何とか卒業前に就職の内定を得ようと必死だ。昨年末までのまとめによると、依然、多くの学生は大企業を希望しているものの、大企業は少数の新卒者しか採用せず、中小企業は採用予定数に満たないところが多くあるそうだ。学生と企業とのマッチングが問題視されている。学生諸君も、ただ単に大企業だけを見るのではなく、それぞれの中小企業をもっと研究して、その企業の将来性などを考えるべきだろう*今年の4月から小学校5年生と6年生を対照として、小学校で外国語の授業が行われる。いよいよ日本でも小学校から外国語教育が本格的に行われるのか・・・。色々賛否両論もあり、起こりえる問題点も多いようだが、必要なことだと思うので何とか良い方向に進んでほしい。教える先生方は大変だと思うが、日本の将来のために頑張っていただきたい。(照井)

Let me remind you''''

★JAAC生の皆さん、保護者の皆さん、何でもお気軽にご相談ください

◆JAAC生の皆さんへ：履修科目のDrop and Add（教科履修の変更）の手続きが必要な人は期限を再確認してください。特に、今学期終了後に卒業する人や、今年中に編入を予定している人は、くれぐれも必要な単位を落とすことのないように心がけてください。

■風邪の予防に努めましょう：日本では今年もインフルエンザがはやり始めています。アメリカ国内においても発祥例が出ています。早めの予防を心がけて、風邪に似た症状が出たら専門医に診てもらいましょう。

▲アメリカ国内での就職説明会について：アメリカ国内で開催される今年のジョブフェアやキャリアフォーラムの日程は、4月くらいからインターネット上などで案内される予定ですので、時々、パソコン等で確認するようにしてください。

●JAAC本部内保護者様専用ご連絡・ご相談窓口：

フリーダイヤル 0120-525-626 tokai@jaac.co.jp 担当：高瀬

JAAC 日米学術センター 鈴木：t.suzuki@jaac.co.jp ©カリフォルニア担当：照井 k-terui@mtg.biglobe.ne.jp

